

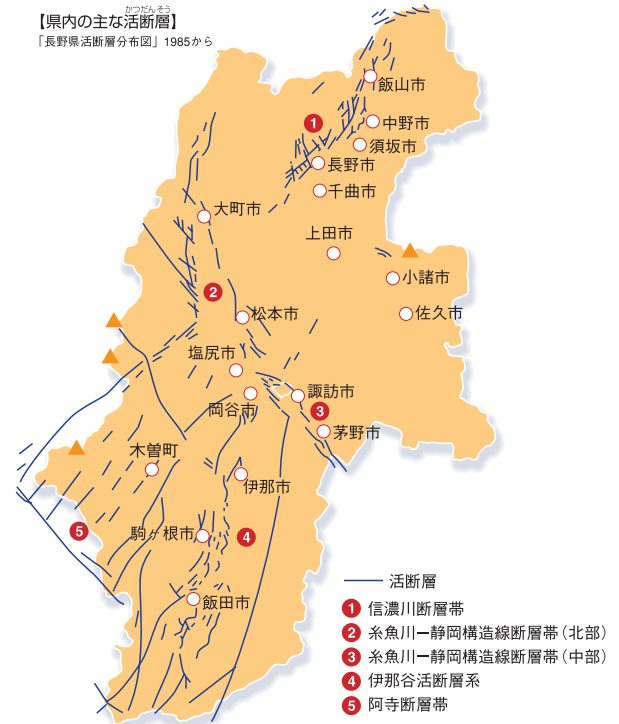
# 東海地震とは

## 諏訪地域で予想される地震

1976年(昭和51年)8月、地震予知連絡会で、「東海地震でマグニチュード8クラスの大地震が、いつ起きても不思議ではない」という東海地震説が発表され、2002年(平成14年)には、諏訪地域6市町村が、東海地震に関する「地震防災対策強化地域」に一括指定されました。

幸いにして東海地震は1854年以降現在まで起きていません。しかし、全国各地で地震は発生しています。対策がなされていなかったため大きな被害となり、改めて大地震に対する認識を深めることになりました。

また諏訪地域には、糸魚川—静岡構造線断層帯などの内陸型活断層があり、直下型地震が起きる可能性が高いため、十分な対策が必要となります。



## 周期的に起こる大地震

日本列島の太平洋岸では、プレートの潜り込みによる地震が、かなり正確な周期で繰り返し起こっています。特に、東海から四国にかけての地域では100年から150年の周期で、ほぼ同じ場所、同じ規模の大地震が繰り返し起こっています。

東海地方より西側では、すでに地震が起き、エネルギーが放出されていることから、しばらくは発生しないと思われています。しかし、駿河湾から御前崎沖では、未だ地震が発生しておらず、地震のエネルギーが蓄積されていると考えられています。ここは、地震活動の空白域と呼ばれ、巨大地震がいつ起きても不思議はないと予想されているのです。

## <太平洋岸で起きた過去の大地震>

